



DOSHISHA
TOKYO
JOURNAL



INDEX

INDEX
2015 同志社東京 春の集い report-1
春の集いに!

2015 同志社東京 春の集いに!
記録的な春の集いに!
道尾の挨拶

記録的な春の嵐
村田晃嗣学長の挨拶

村田亮嗣 有栖

村田晃嗣学長の挨拶
春の集い report-2
【講演】 有栖川有栖さん・中村うさぎさん

【特別講演】
春の集い report-3
参加者

【特別講演】
春の集い report-3
春の集い参加者に聞いてみました!
と振り返って・2016 実行

春の集い report-3
春の集い参加者に聞いてみました!
春の集いを振り返って・2016 実行委員長の抱負

同志社スポーツ

同志社スポーツ
創刊100号突破記念特大号

同志社スロー
次号予告 創刊100号突破記念特大号
片桐家同志社五代記 (十四)・連載コラム今出川四季
新彦さん 中谷ルバ植樹

片桐家同志社さん
校友訪問 / 結城哲彦さん
／日立製作所

片桐家同窓社
 校友訪問 / 結城哲彦さん
 企業内校友クラブ / 日立製作所・支部便り / カタルパ植樹
 神田祭りと錦三・七五三太公園

企業内校友クラブ/日産自動車
神田祭りと錦三・七五三太公園

表紙写真

学士会館の隣接地に新島襄ゆかりの錦三・七五三太公園ができました。

関連記事: 11 ページ

同志社
東京
校友会

春の集い report 1

**六〇〇名を超える
記録的な春の集いに！**

第17回となる今年の「春の集い」は昭和46年卒業生が主体となり実行委員会を組織、昭和56年・平成3年卒業生が後方でしっかりサポートする形で総勢56名の体制で企画運営がなされました。



Doshisha on my mind 我が心の同志社



児玉正之 東京校友会会長

前日の雨の予想を見事に覆し、薫風五月晴れの日曜日、昨年を大きく上回る600名を超える同志社校友のOB・OGの皆様方が集結し、まさに熱き同志社の情熱が集約された形になりました。

受付開始は正午。皆様方は、その前からロビーにお越しになり、1年ぶりの再会を喜びあい、話しが一気に盛りあがっております。また今年は開会前の1時間を使って、会場内ホワイエにて首都圏で働くビジネスパーソン対応の大名刺交換会の場を提供させていただきました。多くの皆様、世代を超えて、熱心な名刺交換を行い有意義な時間を過ごしていました。

今年は、並行して募金活動の一環である「同志社クッキー」の販売と、特別講演会のゲストである作家有栖川有栖さんと中村うさぎさんのサイン会を兼ねた著作販売会、さらに同志社グッズの販売などを行い、開会前からロビーやホワイエは人であふれる状況となり、すでに雰囲気は最高潮に達していました。また、毎年恒例の34年会総会も同時開催されました。

謝の気持ちを忘れることなく、皆様方と想いを馳せる日にしませんかと、呼びかけました。

主催者代表として同志社東京校友会児玉正之会長から、過去二年続けて参加者が550名前後を達成した後の今年、高いハードルでありましたが、600名を超える校友にお集まりいただき、開催できたことへの感謝の言葉がありました。



ビジネスパーソン 大名刺交換会

いよいよ、開会宣言です。横山徹実行委員長が登壇。まずは今年も多くの方の皆様に参加していただけて盛大に開催できることへの感謝の気持ちを伝えたと、今年のテーマ「同志社オン マイ マインド」我が心の同志社」について、テーマ設定の意図を説明いたしました。本学は今年140周年の節目の年であり、同志社で過ごし、多くの方と巡り合い、卒業後の人生を豊かなものしてくれた感

また、東京校友会として、新オフィスに移転して二年目に当たり、いよいよ活動しやすい環境ができつつある中、今年も「群れる」をテーマに様々な活動を計画しているが、特に秋には関東在住の皆様を中心に「第1回親睦ゴルフコンペ」を企画中心で期待してほしいということ

さらに千代田区にある新島先生生誕地のすぐそばに、町内会の皆様の熱烈なご協力で先生の幼名を冠した「錦三・七五三公園」が誕生したこと、などの報告がありました。

引き続き来賓挨拶として同志社校友会木村昌平副会長から17回となる今年の開催をお祝いされたのち、ご自身は今現在、塾活動を通じて、地元で次世代の育成を推進していることなど、校友活動の一端を紹介いただきました。

さらに村田晃嗣学長には、創立140周年を迎えた「同志社のいま」について、別欄で紹介しているように、「国際化」と「グローバル化」の違いを説明され、現在の教育方針について熱く語っていただきました。



木村昌平 校友会副会長



水谷誠 理事長



横山徹 実行委員長



長谷川正治 校友会副会長

第一部の最後は、東京クローククラブによる同志社大学歌で締めくくっていただきました。

第二部は、本学出身の作家有栖川有栖さんと中村うさぎさんによる特別講演（詳細は次ページ）や、第三部では同志社東京アンサンブルの皆さんによる室内楽演奏、さらに応援団OBによる演奏など、会場の盛り上げ策も多岐にわたりました。まさにオール同志社による「春の集い」が実現しました。

最後に昨今、若手校友の誘致動員が課題でありましたが、いくつか、新しい観点で動員推進策を講じた結果、平成年度卒の皆さん一〇二名の参加をいただきましたことを紹介し、報告にさせていただきます。

長撈 学 創 立 一 五 〇 周 年 に 向 け て 「ビジョン2025」を作成

同志社大学 学長 村田晃嗣



今日は東京校友会の春の集いがかくも盛大にとりおこなわれましたこと、心より喜び申し上げます。また皆様には学校法人同志社の様々な活動に、いつも多大なるご支援をいただき、改めて御礼申し上げます。

さて、一八六四年、新島七三太は函館より脱国しアメリカに渡り、そして一年かけてボストンに到着しました。今年、日本は戦後七〇年と言われていますが、アメリカにとりましては南北戦争が終わって二五〇年、我々にとりましても、新島がアメリカへ渡ってから二五〇年です。

その後、名門フリップアカデミーに学び、マサチューセッツ州にあるアモスト大学を一八七〇年に卒業した新島は日本人として、おそらくアジア人として最初にアメリカの大学を卒業した人物ではないかと思えます。その後、帰国し一八七五年に同志社を創設しました。一五〇年前の日本は、西欧列強から開国をさせら

れましたが、今の日本も急速なグローバル化の問題があり、非常に良く似た状況です。

さて、二〇二五年が同志社設立二五〇周年になります。これに向け「ビジョン2025」を作成し学内の承認を得たところです。同志社はキリスト教と自由主義と国際主義を掲げてきましたが、今日その意味を改めて考えました。このビジョンの作成過程では、すべての教職員からパブリックコメントを求め、ビジョンの中には数値目標を提示する事をやめ、どういう事をやっていくのかのプロセスを大切にしました。内容は少子化・グローバル化の中で原点にもどること、同志社らしさの再構築です。

グローバル化と国際化は違いますが、大学同士の交流としては最も古いアモスト大学との交流、学生の約5%には教養科目をすべて英語で履修させるこ

とや 学部時代だけではなく学び続ける環境作り、宗教についても、お互いの無理解が摩擦やトラブルになるため理解を持った学生を育てることを考えております。

文化面では京都にあることを生かし匠や伝統工芸の講座で文化力の強い同志社になることを目指しております。このような中長期の展望を考えている同志社に、今後とも皆様のご支援ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

文責／作村満明(昭52年・法



2015同志社東京校友会 春の集い Report 3

参加者に聞いてみました！
ついに600名を超えるところまで来た「春の集い」。
若年層の参加率アップしたようで・・・。

「春の集い」も数えて17回目ですが、それ以前の「総会・合同懇親会・女子中・高・大同窓会との合同の意味」の時代を含めると、首都圏同志社人の同窓会は数十回の歴史を刻んできたわけですね。その中で、昭和20年代卒業という大先輩方がお元気な姿を見せてくれるのは長い歴史を誇る大学としては実に素晴らしい

ことだと思います。一方で、輝かしい未来を展望するメジャーな大学の校友会としては、若年層の参加者もしつかり確保しつつ発展していくことが必要です。そういう意味では、東京校友会では「若年層」と位置付けられる「平成年度卒」の参加者が、今回は全体の2割近くを占めるようになったというのは、新卒から3年は参加費無料といった近年の増加対策が実を結んできたということなのでしょう。

また、昨年来の「異業種交流会」に加え、今回実施された「名刺交換会」もビジネス世代の校友にはうれしい企画となったようです。若年層の参加者に聞いてみると、「開会前の時間帯に先輩方と名刺交換ができ、よかった」という声が重なりました。また、参加費無料措置も「せっかくの優遇措置だから」参加したという人が多く、効果ありという結果。こうした好反応を正規の入会につなげていくための日常の校友会活動が問われます。

文責／谷村和典(昭47年・文)

2015春の集いを 振り返って

実行委員長 横山 徹

「2015同志社東京・春の集い」を皆様方のご協力によって無事終えることが出来ました。当日は600名を超える校友にご参加頂き、大変な盛会になりましたこと心より厚く御礼申しあげます。

昨年九月に46年卒を中心に実行委員会を結成、回を重ねるたびに、暗中模索の状況から「絆」が生まれ、45年卒・常任幹事の皆様方の熱烈支援もあり無事終えることが出来ました。

事業計画は昨年並みにし、次にテーマを議論。ワイガヤの中から生まれた「同志社オンラインマインド」は誰もが、同じ学舎で過ごし、人生を豊かにしてくれた「同志社」に感謝しつつ、思い出に残る一日をコンセプトにいたしました。

ゲストは本学出身で気鋭の推理作家有栖川有栖さんとして話題性豊かな作家中村うさぎさんに決定。また若手動員策として、平成25年卒以降は無料にし



左/47代会代表 神内 一恵氏

右/46代会代表 横山 徹氏

2016春の集いに 向けての抱負

実行委員長 神内 一恵

2015年「春の集い」成功おめでとうございました。600名

ました。さらにFACE BOOK活用で平成年度卒動員数が一〇二名となり、将来を担う校友づくりに貢献しました。末尾になりましたが、春の集い開催に当り多大なるご支援を賜りました校友及び校友関連企業、実行委員(46年・56年・平成3年卒)の皆様改めて御礼を申し上げます。

同志社東京46代会代表(昭46年・工)



昭和55年同志社大学文学部英文学科卒業。
1991年ライトノベル作家としてデビュー、角川スニーカー文庫より『ゴクドークン漫遊記』で人気を博す。その後、自らの浪費家ぶり(ブランド品の買い物、ホストクラブ通いなど)を赤裸々に書いたエッセイ『ビンボー日記』、『ショッピングの女王』がヒットした。現在では、主にエッセイストとして活動されていて、共著・対談でもヒット作が多く、特にマツコ・デラックスさんとの「サンデー毎日」でのリレーコラムや、同志社大学の同窓生である作家・佐藤優さんとの共著『死を笑う うさぎとまさと生と死と』が好評。

中村うさぎさん

「欲望という名の暴走車」

ゲームライターをしていた33歳の時、中学校生向けの「ファンタジー小説」が爆発的な人気になり、そのブームに乗った中村さんは印税で大金を手に入れます。今まで見たこともなかったお金を前にすると人は「何かを買ってみたいくなる」もの。人によつてはそれが家だったり車だったりしますが、中村さんはそれがシャネル。初めてシャネルの店に行き、清水の舞台から飛び降りる勢いで60万円の革のジャケットを買いました。

シャネルの店員が店の外まで付いてきて、シャネルのロゴ入りの大きなバッグを恭しく差し出し「ありがとうございます！」と頭を下げられた時、周りの人々の視線が一斉に集まってきた時の有頂天感、高揚した気分は、33年生きてきた中で最高のいい気分だったと言います。脳内に快樂物質が充満したような…。そこからひたすら高級ブランド・シャネルの服やバッグを買い漁るようになっていきました。

それでも人というのは飽きる訳で、買い物熱が去った時に、精神科医に診てもらおうと実はこれは「買い物依存症」という病気であると判明したと言います。「私の人格の核の部分にあるのは欲望なんだ。私はシャネルを欲しかつた訳ではなく「シャネルを着ている私」を欲しかつた訳で、私とは何かを探すために欲望を全開させていたんだ」と徐々に分かつてきましたと最後に結び、実体験を昇華させる作家らしく、人の営みの滑稽さと切なさを見事に示してくれたのでした。

文責／荒井好二(昭46年・法)

を超す大量動員、それにふさわしい楽しい講演会・懇親会でした。実行委員の皆様のご尽力の賜物と感謝いたします。

来年は私ども47年・57年・平成4年の卒業生が実行委員会を担います。わたくし、同志社東京47会の代表をつとめます神内と申します。

さて、まだ一度も実行委員会が開かれていない現時点での抱負となると、個人的見解となることをご承知置き下さい。

2つの「き」についてお話しします。ひとつは「気力」です。今年の47会の新年会は、過去最大の人数が集まり、来年の「春の集い」に向けて盛り上がりました。もう一つの「き」は「企画」です。ヒントはラグビー部復活の兆しです。来年は同志社の復活の年にしましょう。村田学長が掲げる「質の向上」でライバル校も蹴しましょう。

そして、「春の集い」を1日だけのイベントに終わらせず、準備の期間も含めて、同志社から情報発信する機会としたいものです。最後に校友の皆様の絶大なご支援をお願いします。

同志社東京47代会代表 昭47年・商

春の集いの出演交渉に出向いた時、「同志社出身の著名な作家がたくさんいる中で、私を選んでいただいても光栄です」と、真っすぐに出演を快諾いただきました。たくさんの講演活動をなさっている有栖川さんでも母校の同窓会は特別な意味があつたでしょう。そうして行われたのは、講演ではなく、推理小説とはなにかに正面から取り組んだ「講義」そのものでした。

冒頭、有栖川有栖のペンネームの由来からスタートしました。12歳から作家を志した彼は、大学選びの大きな動機に昭和50年代の関西の大学で「推理小説研究会」があつたのは、同志社大学だけだ、ということをおげます。4年間を推理小説研究会で活動されたのですが、(部室も与えられていない弱小同好会だから・本人談)学生会館のラウンジで情報交換や議論を交わしていて、それでもガリ版刷りで、みんなで精力的に作品を発表していたそうです。先輩たちが如何にも推理作家らしいペンネームを付けている中、さあ、どんな名前にしようかと思索。有栖川さんは大阪の自宅から同志社に通学していたのですが、

阪急電車で四条烏丸駅に着いてから、烏丸通を大学までは徒歩で通つていて、その徒歩通学路に、ある立て札を見つけました。「有栖川宮家跡」これを拝借したいといいます。同志社に行つていたからこの名前になったのです。

まず江戸川乱歩の推理小説の定義、「主に犯罪に関する難解な秘密が論理的に徐々に解かれていく経緯の面白さを主眼にした文学」を紹介して、これはいささか古い時代の定義で、自分はいさか古い時代の定義で、自分はこう思うと話を進めます。それは方程式で表せる。謎×捜査+推理=真相。捜査が大きい方が面白いとされ、警察小説や法廷小説、社会派小説が日本では主流とのこと。また、ミステリーとサスペンスの違いや、ハードボイルド小説にも話が及びました。

「推理小説は何を描くか」

有栖川有栖さん

昭和57年同志社大学法学部法律学科卒業。
在学中は、推理小説研究会に所属されて機関誌「カメレオン」に創作を発表されていた。1989年、『月光ゲーム』で鮮烈なデビューを飾る。以後、精力的に作品を発表し、2003年『マレー鉄道謎』で第56回日本推理作家協会賞を受賞。2008年には『女王国の城』で第8回本格ミステリ大賞を受賞した。

また、横溝正史ミステリ大賞や江戸川乱歩賞などの文学賞の選考委員も務められている。有栖川有栖創作塾の塾長として後進の指導にも取り組まれている。



2015同志社東京校友会 春の集い特別講演 report 2



ラグビー部大学選手権3連覇の偉業達成に同志社の大応援団は沸きに沸いた(1985年・国立競技場)
写真提供：卒業アルバム委員会

次号予告
10月下旬
発行予定

- ◎歴代校友会東京支部長、東京校友会会長、代表幹事の思い出
- ◎東京ジャーナル初代編集長 直撃インタビュー！
- ◎同志社東京校友会のルーツは、明治期の、あの徳富蘇峰？
- ◎麹町、銀座、渋谷、大手町…【校友会活動拠点の変遷】
- ◎ラグビー、野球、相撲…【栄光の同志社スポーツ！】
- ◎企業内校友クラブ幹事・世話人座談会

※上記の記事内容は企画検討中のものですので変更されることがあります。 ※原稿・写真はデジタルデータがありましたら、出来るだけそれをお送りください。
※ページ数に限りがありますので、掲載できないことがあります。予めご了承ください。 ※次号に掲載できない場合、次々号以降に掲載させていただくことがあります。



送り先・お問い合わせ

締切日：8月31日(月)

同志社東京ジャーナル編集委員会

電話：03-5579-9728

FAX：03-5579-9729

Mail：office@doshisha-tokyo-alumni.jp

原稿・写真大募集！

校友の皆様がお持ちの貴重な写真、胸に響くエピソードや裏話などをお寄せください。

☆昭和(戦前、戦後、高度成長期、バブル期...)のキャンパスライフ

☆「春の集い」スタート時のエピソードや苦労話

☆新島襄ゆかりの地探訪記(生誕の地、終焉の地等)、碑前祭などの思い出

☆各種イベント、スポーツ、年次会、サークル活動での出来事や出会い

☆東京校友会・東京ジャーナルへの期待・提言・要望など

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違うはず。
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。

ダイキン工業株式会社



同志社スポーツ

名門の復活！

5月17日に行われた
愛知県ラグビー祭、対早稲田戦。
強豪・早稲田を圧倒し
60-24の快勝



早稲田に勝つのは実に15年ぶり。同志社の勝利に会場も大きな盛り上がりを見せた。

随所に同志社の良さが出た試合だった。統制のとれたディフェンス、コンタクトプレーの力強さ、そしてチームとしてのまとまり。そのどれもが優位に立っていた。

前半13分、スクラムから先制トライを奪うと、前半20分にも再びスクラムからインゴールへ(10・0)。スクラムを起点に2トライを決める。その後も両者トライ、PGで得点を重ね24・17の同志社リードで試合を折り返す。

後半の同志社の戦いぶりは圧巻だった。終始同志社ペースで試合が進むなか迎えた後半9分、FB崎口(経3)が突破しトライ(29・24)。これを皮切りに怒涛の5トライを取り60・24で試合終了。15年ぶり！

早稲田からの久しい勝ち星。しかし「早稲田に勝つことが目標ではない」(吉澤・商4)と、慢心はない。目指すのは日本一。勝った時こそ収穫と課題を見つめ一歩一歩前進していきたい。

文責／杉本 大(政策・3年)

6月7日 西日本学生相撲選手権大会
全日本王者・近大を倒し、全勝優勝。
西日本の頂点に登りつめた

「もう最高！」(寺本・社4)。長い間優勝に手が届かなかっただけに喜びもひとしおだった。

初戦の相手は近大。先鋒が敗北するも、一陣・青山(商3)が勝利した。しかし、中堅戦で敗れ1・2で副将戦を迎える。「ここで勝てなかったら優勝はできないと思った」。大喜多(法4)は必死に食らいつく、寄り切つて勝利。大きな声援が大将・高橋(法2)の背中を押す。堂々とした相撲で相手を突き落とし、快勝。3・2で近大から勝ち星を挙げた。

その後も破竹の勢いで勝利を重ね、全勝で最終戦対朝日大を迎える。先鋒、二陣が勝利し、優勝まであと一勝。中堅・猿渡(社2)に期待がなかった。得意な姿勢に持つて行き、勝利は目前かと思われたが、「一歩及ばず惜敗。猿渡の思いを受け、大喜多は一層鼓舞された。立ち合いから気迫を見せると相手を土俵の外へ。続く大将戦も勝利し4・1で朝日大戦を制した。会場は拍手喝采。優勝をつかみ取った瞬間だった。

古豪と呼ばれていた同志社相撲部。新たな歴史の幕開けだ。

文責／柳生芽衣(文・3年)

2期連続16度目のリーグV。
西の王者が完全復活!!
黄金時代突入へ

「去年の優勝は、全試合が4・3といろんなまぐれが重なった」(前田監督)と前評判を覆しての「奇跡の優勝」。だが、昨年の主力選手を多く残し、インターハイ王者の加入など全ての階級に穴がない盤石な体制が整った今季。圧巻の試合内容で2季連続の優勝を成し遂げた。今回の勝因は「自分たちですっかり練習ができていたこと」(三村HC)。和智(神3)や榎本(商3)など関東出身でインターハイの優勝、準優勝を経験した選手が存在が大きい。関東で競った試合を経験したメンバーを中心に良い練習が取り組めているようだ。

「昔は怒りつばなしたが、いい意味での自主性が選手たちに見えた」(前田監督)とチームの成長に手ごたえを感じている。「月に1・2回しか練習を見に行けないが、その時も文句のつけようがない」(三村HC)。連覇を果たした姿には王者の風格が漂い始めていた。49季ぶりの奇跡から2季連続の栄冠へ。黄金時代が今始まった。

文責／石見暢浩(政策・3年)

家族葬から社葬・お別れの会まで、
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



株式会社 公益社
東証一部上場 株主優待グループ

まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ
☎0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp 通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ●公益社 用賀会館 | ●公益社 高円寺会館 |
| ●公益社 明大前会館 | ●公益社 仙川会館 |
| ●公益社 田園調布会館 | ●公益社 雪谷会館 |
| ●公益社 高輪会館 | ●公益社 社会館 たまプラーザ |

営業所
■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域
首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

はしりまきのお
堀ホールディングス(株) 取締役相談役 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

おがわよしひで
株式会社 法人営業推進部 部長 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)

連載
連企

片桐家同志社五代記

十四

初代清治の話は、前号でとりあえず終わった。

続いて二代目に入るのだが、清治と亀代は6男5女（娘一人は幼くして、4男は早逝）を授かりが、男子6人は全て同志社の門をくぐることになる。

さて私の祖父卓は清治の長男

であるが、清治が同志社英学校邦語神学科を卒業、郷里に戻り水沢教会を設立した翌年の明治19年に誕生する。明治21年には次男哲も水沢で誕生している。

清治は、哲の誕生した年仙台の東華学校の幹事として赴任、一家は仙台に移る。残念ながら東華学校は、明治25年3月で閉校になり、清治は福島教会、涌谷教会の牧師として務めることになる。一家も清治の移転と



片桐卓夫妻

ともに住まいを転々とする。

明治29年、卓は涌谷尋常小学校を卒業するが、清治が明治30年に仙台組合教会の二代目の牧師として迎えられ、宮城県中学校に入学する。そして翌年の明治31年同志社中学校に編入し、ここに同志社一代目が誕生する。

卓は、京都では外人宣教師宅に寄宿通学するが、残念なことに健康を害し3年で止むなく中退、北海道札幌市富貴堂書房へ住み込みで勤務する。

次男哲が明治37年に父の清治牧師から洗礼を受けているが、卓も同じ時期に受洗している。

明治39年、19歳の時、中国杭州日本郵便局に勤務の傍ら独学で英語、独語、ロシア語、満州語、中国語を習得し、外交官試験に合格する。明治45年、中国南京郵便局に勤務。

大正3年、高橋きよ江と結婚するが、きよ江について簡単に紹介したい。きよ江は高橋守、かまの2男3女の長女として名古屋で誕生。父は陸軍主計中佐だったが、任地の台北で府立高女に入学、その地で洗礼を受ける。

父が仙台に転勤のため大正2年に宮城県立第二高女を卒業、翌年の大正3年卓と結婚する。その後は夫の卓の転勤に伴い南京から始まり満州、中国各地に住し、在留邦人の婦人会長としても活躍、信望を一身に受ける。また4男5女をもうけたが、内3名は幼少にて昇天している。

大正4年長男祐、続いて5年、我が父昌が南京にて誕生する。

卓は、その後大正7年外務通訳生を拝命し、漢口総領事館に赴任する。

大正11年外務省臨時調査部に転任、大正13年には外務省重細重局第三課に転任。その後満州営口に転任、昭和9年満州在間島総領事館渾春分館主任を拝命する。昭和15年には東満北部から中国天津に転任、翌年の16年初めて九江帝国領事に任命される。昭和18年6月勲五等瑞宝章の叙勲を受け、九江帝国総領事（高等官四等）に任命される。

ところがこの年の10月、東京での所用をすませたきよ江は、関釜連絡船昆侖丸にて九江への帰路玄界灘付近で米国潜水艦の魚雷攻撃を受け艦は沈没、昇天する。享年47歳であった。

文責／片桐 陽（昭42年・工）

連載
コラム

今出川四季

会計学研究会のメンバーと



後列左から2番目が筆者

文／洪水啓次（昭35年・商）

同志社大学に入学すると、いろいろなサークルからの誘いがある中で、当時人気の高かったESSやグリーククラブに入会したかったが、商業高校出身であったため、公認会計士を目指して「会計学研究会」に入会した。

しかし、「会計学研究会」は会計士の受験勉強をするところではないと先輩に言われ、当時の同志社大学では主流であったドイツ会計学の研究をすると共に、一年生から三年生までは友達と酒を飲みにいったり、社交ダンスに夢中になったり、歌

声喫茶へ通ったりで、青春を謳歌して、会計士の受験勉強はできなかった。

四年生になって将来のことや就職先を真剣に考える頃になり、大学入学当初に志した会計士試験を受験することを決心して猛勉強をした。卒業した一九六〇年の夏に再受験して、合格率八％の一九六名の合格者の一人になることができた。

一九九四年から一〇年間、大学院の商学研究科の嘱託講師として「制度会計」を毎年一月下旬の三日間に十二コマ・十八時間の集中講義をしていた。会計学研究会で一年先輩であった同志社大学商学部長からの推薦で、二〇〇四年四月に新築された今出川の寒梅館に司法研究科（法科大学院）と同時に創設されたビジネス研究科（ビジネス・スクール）の専任教授に就任して、「国際会計」「国際税務」「企業買収・合併」の三科目を担当した。

二〇〇七年三月の七十歳定年までの短い三年間であったが、後輩の指導に当たることができて幸いであった。

校友
訪問

商社や外資系ホテルのビジネスの修羅場をくりながら、別の時間帯で学究的姿勢を継続させてきたという結城さん。社長も博士も自らの人生のキャリアに、という夢を実現させたスーパー80歳。若々しい声で質問に答えてくれました。



早稲田大学から博士号を授与された日に

「まさかの備え」

座右の銘というほど大げさのものではありませんが、私には折にふれ自戒の軸にしている言葉があります。「人生には上り坂、下り坂の他に、もう一つ、まさか、というものがある」。

このフレーズは2007年の安倍総理突然の辞任の際の小泉純一郎氏の談話や結婚披露宴で

の激励スピーチなどでよく知られるようになりましたが、私にとってこれは、「母の言葉」ということになるのです。

ちよつと諧謔も含まれていますが、むつかしいところはあります。人生訓、処世訓としては非常に分かりやすい。

母はことあるごとにこの言葉を私に言い聞かせました。ですから、子どもの私の心にもしっかりと刻まれることになり、生き方の指針ともなったわけです。

人生の中では天変地異、世界情勢、人との出会いなどで「思わぬ展開」があつたりする。「まさか」です。だから常にそのことを考えて「備え」をしておくように、という話ですが、おかげさまでこの「まさかの備え」の教えによつてビジネスマンの時代も何とか乗り切れましたし、学究の道への転換もスムーズに出来たのだらうと思っています。母には大感謝です。

「儲けるのが一番」ではなく

出身は新潟県の長岡、高校も長岡高校です。高校生生活は戦後の昭和20年代後半。当時、同志社は全国から自分の大学に合う優秀な高校生を積極的に勧誘しようという事で、気鋭の教授陣が、いわば「全国遊説」を行っていました。その一環で、わが長岡高校にも有名な先生がやってこられて、印象深いお話をされました。

ただ、やはり越後と京都は遠い。そうこうするうちに、校長先生から「同志社には素晴らしい奨学金システムがある。行ってみないか」とのお話がありました。我が家は学者、教育者系の家なのですが、経済的にそれほど余裕があるわけではない、ということがあるわけでは、ない、ということがあるわけでは、ない、ということがあります。夜行列車に乗って16時間の上洛でした。

法学部卒業時も、研究職にという思いはありましたが、やはり働かなければ、という決断で商社の世界へ。高度成長期、日本の商社はなんでも商売にしました。



80歳の誕生日の翌日にインタビュー

文責／谷村和典（47年・文）

企業内校友クラブ 日立 クローバー会 開催報告



去る2月18日、株式会社日立製作所の関東エリアに勤務する同志社大学OB・OGによる「第2回 日立クローバー会」が東京一ツ橋の如水会館にて開催され、総勢67名が出席しました。



日立製作所には国内外合わせて約400名強のOB・OGが在籍しており、そのうち約350名が関東エリアに勤務しています（日立グループ全体ですとさらに増えると思います）。以前からエリアごとで小規模な同窓会は開催されていたのですが、2012年当時の幹部の発案により「第1回日立クローバー会」を開催しました。常設の同窓会ではなくパーティー開催に合せて結成される有期の幹事団でしたが、名簿作成・案内メール・会場確保・当日イベント作成など全てがゼロからスタートし開催に漕ぎ着けました。

今回は2012年当時の幹事が再結集し、約半年間準備に時間を掛け開催しました。本社が丸の内にあり、京橋の同志社

大学東京オフィスと大変近いことから、幹事打合せは毎回東京オフィスの会議室貸し出しサービスを利用して頂いておりました。大変きれいで立地も良く便利です。

今回のパーティーでは、京都から同志社大学高等研究教育機構 副機構長・理工学部教授 和田元先生をお招きし大学近況についてご紹介頂きました。出席者のうち半数以上が田辺キャンパスを知らない世代であり、また今出川エリアの新キャンパス・新校舎についても初耳のOB・OGが多く、母校の隆盛ぶりに大いに盛り上がり、また若手幹事による同志社クイズ大会で盛り上がり、最後は出席者全員輪になり「COLLEGE SONG」「DOSHISHA Cheer」を歌い上げ、盛会のうちに幕を閉じました。

最後になりましたが、今回開催にあたり多大なるご協力を頂戴しました同志社大学高等研究教育機構 副機構長・理工学部教授 和田先生、校友・父母課長田中様、東京オフィス安永様、牧野様にこの場をお借りし改めて御礼を申し上げます。文責／川上 晋(平12年・文)

神奈川県支部 からの報告

大磯町へ新島襄ゆかりの カタルパ植樹寄贈

校友会神奈川県支部は4月28日に神奈川県大磯町にある大磯運動公園にてカタルパ苗木の植樹式を行った。

大磯町は校祖新島襄終焉の地であり、毎年命日の1月23日に碑前祭が行われている。この絆及び日頃の協力を感謝するとともに、同志社創立140周年、裏永眠125周年を記念して、熊本より取り寄せた苗木二本と植樹記念銘板を寄贈した。

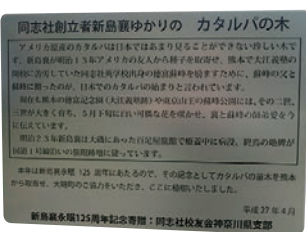
当日は大磯町中崎久雄町長をはじめ町関係者4名及び県支部役員6名が出席。最初に神奈川県支部長の竹村慶三が「大磯町は襄終焉の地であり、その碑は大磯町と同志社との絆の象徴です。カタルパは師弟愛の木とも呼ばれ、私塾運営に苦勞する徳富蘇峰を励ましたため、裏が米国から取り寄せ贈ったもの。カタ



植樹記念銘板の前に / 竹村支部長と中崎大磯町長

ルパが大磯町で育ち、終焉の地碑とともに大磯町と同志社との絆の深化の象徴となること願っています」と挨拶した。中崎町長より「新島襄ゆかりのカタルパを大磯町に植樹寄贈していただけることに深く感謝するとともに、教育に最も力を注ぐ大磯町の象徴ともなるよう大きく育てていきたい」とお礼の言葉があった。ここを訪れる方々が多くなることで、同志社の知名度向上に役立つものと期待します。

文責／森 章次(昭45年・商)



カタルパ植樹記念銘板

神田祭と「錦三・七五三太公園」

五月七日、児玉会長他役員が神田祭の御神酒所開きに参列。同月十三日には「錦三・七五三太公園」がオープンしました。

■初参加の神田祭

同志社東京校友会は、昨年、新島襄生誕の地である神田錦町三丁目町会の法人会員になりました。そして、今年は二年に二度の神田祭。

「錦三」の法被姿で児玉会長、金屋副会長、北濃代表幹事が錦町連合の御神酒所開きに参列。初参加の故か、住友商事、安田不動産、博報堂など地元有力企業と同等のVIP待遇。感激しました。

翌日の前夜祭には、同志社OB・OGが多数参加。地元町会の方々と一緒に神田祭の雰囲気を楽しみました。

■世紀の一瞬

五月十三日、千代田区役所からの情報を信じて北濃代表幹事と「錦三・七五三太公園」撮影に出かけましたが、公園は外柵に囲まれたまま。公園の名前の由来を記した銘板も見当たりません。

十五日に再開発ビルの各店舗がオープンすると聞いて再度足

を運びましたが、肝心の銘板がありません。

金屋副会長から「二十日に銘板設置」と情報が入り、二十日午後勇んで公園に出かけたのですが、銘板もそれらしい人も見当たりません。がっかりして帰宅。その直後、北濃さんからメール。「三時過ぎに銘板設置。前田町会長と校友会の金屋副会長もお見えくださり写真に納めました」

■区道が 七五三太公園に变身

「錦三・七五三太公園」がなぜ誕生したのか。それは、区道を取り込んで地区再開発を行ったからです。再開発地区中央を貫通していた区道が、「錦三・七五三太公園」に变身したというわけです。

■錦町の大先輩

錦町三丁目の前田会長が、なぜ新島襄の幼名「七五三太」を冠した公園名をつけてくれたのでしょうか。それには、次のような歴史があるからです。

昭和十六年、同志社は学士



神田祭 前田町会長を中心に

会館敷地に石碑「新島襄先生生誕之地」を建立し、除幕式を盛大に行いました。そのとき牧野虎次同志社総長の式辞に続いて祝辞を述べたのは、なんと神田錦町の子ども二人（男子と女子）でした。町会長より先に子どもが祝辞を述べたのです。祝辞の中で新島先生を「われ等の町内が生んだ新日本の開拓者」とよび「町内の大先輩に負けないヨイコドモになりたい」と云っています。

現在生誕の地の石碑の横に昭和四十年設置の銘板があります。それは同志社が設置したものでありません。錦町三丁目と錦華小学校、小川小学校が設



銘板と神田錦町三丁目 前田町会長

前田町会長は「錦三・七五三太公園」の銘板に「新島襄は：吾等が町の大先輩です」と記しています。

■江戸っ子 新島襄

新島襄は江戸っ子か。神田錦町会会は「わが町の先輩」と呼んでいるくらいですから、当然江戸っ子という認識です。ところが、同志社人には、先生は安中藩邸育ちだから江戸っ子ではない、という人が多くいます。

新島先生から直接指導を受けた海老名弾正は「新島先生は日本の江戸っ子として米国に入り……」「江戸っ子として更に江戸っ子以上のものがあつた」と言っています。徳富蘇峰も「新島先生は……一面甚だ通人であつた。……而してその通人たるは江戸児たる為であらう」と講演の中で述べています。

文責／支倉 清昭48年・法

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します！

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制



明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル
FAX: 045-471-2377
E-mail: info@meicodenshi.com

045-471-2223

明光電子 | 検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合氣道部)

映像で学ぶ

「同志社基礎講座」のご案内

東京オフィスの大型スクリーンで同志社大学の正規の授業をネット配信で受講いただけます。「本で勉強するより理解しやすい」と好評です。この機会を活用下さい。文責／多田直彦(昭35年・文)

——同志社基礎講座スケジュール——

- ①8月17日(月)12:00~13:30 新島襄の略歴(1) なぜ、密出国したのか?
- ②8月31日(月)12:00~13:30 新島襄の略歴(2) 晩年の関心事、遺言は?
- ③8月20日(木)12:30~14:00 熊本バンド なぜ、同志社の源流なのか?
- ④9月 3日(木)12:30~14:00 アメリカン・ボード 資金と教師を提供した団体
- ⑤8月28日(金)11:30~13:00 新島襄の「教育思想」新島襄の教育ビジョン
- ⑥9月25日(金)11:30~13:00 新島襄の「宗教思想」キリスト教主義とは?

・講師・神学部小原克博教授 主催 同志社ファンを増やす会(代表 多田直彦)
・会場・同志社東京オフィス 申込み・お問合せ 多田あて
・受講料・1回500円 当日 電話 047-390-7260
メール hg02421@doshisha-u.net

同志社東京校友会事務所所在地変更のお知らせ

本会の事務所としておりました、東京都千代田区大手町2-6-2日本ビルディング、デスクカットが3月末に閉店となりましたので、4月1日より左記住所に移転いたしました。

〒101-0047
東京都千代田区内神田
3-22-7 大平ビル6階
電話：03-5579-9728
FAX：03-5579-9729
Mail：
office@doshisha-tokyo-
alumni.jp

定例幹事会兼「春の集い」実行委員会「中間レビュー」報告

日時：2015年4月23日(木)

18時30分~21時30分

場所：がんこ銀座二丁目店

出席者：幹事45名

議事

1・児玉会長挨拶

2・事務局長選任の件

新たに事務局長をおく事にしたとの発議があり、全員の拍手により阪口章夫常任幹事(昭48年・商)が選任されました。

3・「春の集い」中間レビュー

4・東京校友会所在地の変更

編集後記

同志社東京校友会の機関誌として平成2年2月2日に発行された「同志社東京ニュース」から数えて、何とこの号で100号を迎えることになりました。始められた西村四郎編集長の熱き想いがこまで続いたことを、改めて重く感じています。

そういうことで、当初100号を大特別号と考えました。しかし、児玉会長からも特別号は東京校友会の長い歴史を纏解き、また校友の皆様からの思い出や写真など広く応募して頂いて永久保存版として考えたかどうかとの提案を頂き、改めて次号を「100号突破記念特大号」として発行することになりました。

7ページに特別号の原稿や写真をお募りして頂く告知を載せていますが、多くの校友からメッセージ、写真をお送り頂きますよう、お願い致します。

さて100号の巻頭は「春の集い」のレポートです。今年は、過去最高の603名の校友が

集う本場に熱気に溢れた会になりました。また平成年次卒の校友の参加が100名を超え、これも過去最高。若きエネルギーに溢れた会でもありました。

東京校友会では、年間行事として、新島襄生誕の地碑前祭を例年大学と協力し集うことにしていますが、碑のすぐ横に出来た再開発ビルに隣接した公園が同志社にとって新たな記念スポットになりました。詳細はご尽力頂いた支倉常任幹事の11ページのレポートをご覧ください。

また校友訪問では、東京校友会の基盤を作った頂いたとも言える結城哲彦元代表幹事に登場頂きましたが、この3月に早稲田大学大学院 法学研究科 民法学専攻で博士号を80歳(早稲田大学でも初めて)で取得されました。誌面でもその情熱を感じて頂くことが出来ると思います。

文責／片桐 陽(昭42年・工)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2015.JUL. NO.100 同志社東京校友会
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-22-7 大平ビル6階
電話：03-5579-9728
FAX：03-5579-9729

発行人 児玉正之
編集人 片桐 陽
印刷 株式会社スバルグラフィック
デザイン/アド・リッツ株式会社 久保まどか
<http://www.doshisha-tokyo.alumni.jp>

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875

DHC

通販化粧品・
健康食品売上

No.1

価値ある品質を追求し続けるDHCは、最大量^{※2}のグルコサミン^{※3}1920mgと軟骨強化成分CBP^{※4}を世界で初めて配合した「パワーグルコサミン」を開発。かつてない働き関節系サブリを完成させました。これからもDHCは、日本最大級の健康食品企業として、健やかな毎日を応援いたします。

株式会社DHC

〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)



史上最強の
グルコサミン
世界初 CBPを配合



※1 2014年1月1日 日本流通産業新聞
通販・通販 ECOM上高ランキング
※2 DHC史上 ※3 グルコサミン塩酸塩
※4 関節対策を主とする処方

<http://www.dhc.co.jp>